



橋本さん(右から2人目)と「そよ風」のメンバー

「小さなことでも、できそうなことは実行に移す。少しずつ、そして、そっと吹く『そよ風』のように」。急速に進む但東・資母地区の過疎化を何とかしなくてはと、花を通して地域に笑顔を広げる活動を行っているのが、ボランティアグループ「そよ風」(代表 橋本道江さん)です。

メンバーは女性7人。季節に応じた花をプランターに寄せ植えし、年3回、郵便局や小学校、診療所、振興局などの公共施設に届けています。多い年は、ユリの花のみでも

## 花を通して心触れ合う故郷づくり

ボランティアグループ「そよ風」

代表 はしもとみちえ 橋本道江さん(70歳)但東町畑山



1500球育てます。またチユーリップまつりやふくしまつりなどの地域のイベントにはユーモアあふれる手作り案山子かを展示。花と共に、訪れた人たちを笑顔にしてくれます。橋本さんは「行っていることはささやかなこと。気負うとしんどくなります。細く長く活動できたら」と語ります。一昨年からは、近くの特別養護老人ホームの通所者と一緒に、花や野菜を育て、高齢者との交流も行っています。

資母では今日もまた、心地良いそよ風が流れています。

# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲豪華な「御殿飾りびな」

歴史と伝統を引き継ぐ

## 出石史料館「城下町のおひなさま」展

出石史料館で、町内の旧家に受け継がれてきたひな人形を展示する「城下町のおひなさま」展が4月5日まで開催されています。展示されたひな人形は大正から昭和までのもので約110体。中には京都の御所を模した御殿に人形を飾る「御殿飾りびな」もあり、豪華絢爛です。文化や風習を伝えるため、出石皿そば協同組合が毎年開いている展覧会で、今年で8回目の開催となります。会場には出石愛育園の園児が紙コップなどで作ったひな人形や、先生が布で立体的に作った、人形を正しい位置に貼り付ける遊びができるタペストリーなども展示されています。市外からこの展覧会を目当てに訪れる人も居るといふことです。

## お父さんの料理教室

### きらめき鍋を囲み青年団と交流会

2月22日、日高地区コミュニティセンターで、お父さんの料理教室(主催・同コミュニティ「きらめき日高」)が開催され、18人の男性がきらめき鍋と炊き込みご飯の調理を実習しました。

日高高校の生徒や地元の女性らが考案し、「きらめき」から始まる食材を使うことが特徴のきらめき鍋。この日は「キクナ、ラーメン、めんたいこ、キノコ」の他、たくさんの野菜を使い、しょうゆベースの鍋に仕上げました。

食事会には、4月に創作活動の拠点を東京から江原河畔劇場(日高町日置)に移す劇団「青年団」の関係者12人を招き、団員らと交流を深めました。



▲青年団の団員に自慢の鍋を披露